市民の皆様の　自発的な公益活動を応援します

尾張旭市市民活動支援センターニュース

＜Vol.32＞　　2019 年 12 月発行　尾張旭市市民活動支援センター

「市民活動促進助成事業中間報告会」＆「イメージアップ！写真講座」を開催しました

【中間報告会】

12月14日（土）、渋川福祉センター研修室にて開催しました。
5団体が助成金を受けて事業を展開しており、中間報告会として活動の進捗などを発表し、講師（日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザー西村健様、金城学院大学教授齊藤由香様）から講評をいただきました。

ＮＰＯ法人デジタルライフサポーターズネット「みらいがくるくる　ミラクルラボ！」

【団体概要】デジタル技術を活用し、誰もが豊かな人生を享受できる共生社会（インクルーシブ社会）を目指し活動を行っている。

【事業報告】将来を担う子ども達を対象に、一箇所で広汎な体験ができるイベントを開催。今後必要となる「論理的思考力」「創造力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」の成長を促す契機とした。

9/22（日）にスカイワードあさひ５階くすのきホールで開催し、約500人の親子が参加。

ドローン・ロボットカーのプログラミング体験や、飛び出す３Ｄぬり絵、８畳大の紙で折り紙、科学実験を行った。プログラミングでは、「実際に目の前の物が動く」というのが子どもたちの興味をひき、皆一生懸命やっていた。折り紙では初対面の子たちが、自然に役割分担を行い、ツルやかぶとを折ることができた。

中日新聞に記事が掲載された後は、サイトへのアクセスが５倍になり、ＬＩＮＥの登録も増えた。

次へのステップとして、補助金ありきにならないように、有料企画を入れ込む、企業協賛を得る、行政と共同によって施設提供を受ける、大学や他のＮＰＯとコラボレーションするなど助成金を受けずに事業計画ができる方法を模索したい。

【講評】

●アクセス数が増えたのはよかった。これが次のコラボにもつながる。今回は対象が小学生だったが、ぜひ来年度以降は、障がいをもつ方や、ＩＴが苦手な高齢者の方を対象に活動を発展していただけたらと思う。

●目的も明確で成果も出ていた。デジタル社会といわれているが、誰もが様々な種類のデジタル技術にアクセスできる訳ではないのでこういった市民活動で取り組みがなされるのは素晴らしい。

尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会「市民有志ミュージカル～現代を舞台にしたオリジナルミュージカル～」

【団体概要】尾張旭で市民を中心としてミュージカルを作る。幅広い世代との交流と、自分を表現する機会の提供をし、広く文化活動に貢献する。

【事業報告】「ひまわりダイアリー」は、8/12（祝）、15時と18時の2回、尾張旭市文化会館あさひのホールで上演した。尾張旭市を舞台に幻のひまわり畑を探す少女の話。ミュージカル参加者は34人。集客数は２回で計384人。収支決算は黒字となり、助成金をいただかないで事業を終了することができた。助成事業の認定があったことから、信頼を得て公演できたと考えている。いろいろなメディアにも取り上げていただき多くの方に参加してもらえた。

【講評】

●当初予算から、いい意味で、いい方向に変更された。参加者の不確定要素があるという話もあったが、状況に応じて変えていけるのも市民活動のいいところでもあるので、すでにこの助成金から自立し始めている頼もしい活動と感じた。

参加者が予定より多く集まったところを振り返り、どこかに成功した要因があると思うので、ノウハウとして引き継いでいただきたい。

●参加者、スタッフの方ともに多くの方が集まり、市民の共感が得られる活動ができたと思う。すでに自立してしまわれた。今後とも市民活動を盛り上げるという意味でも活動を続けていただきたい。

ＮＰＯ法人ピース・トレランス
「おてつだいしますシール・プロジェクト」

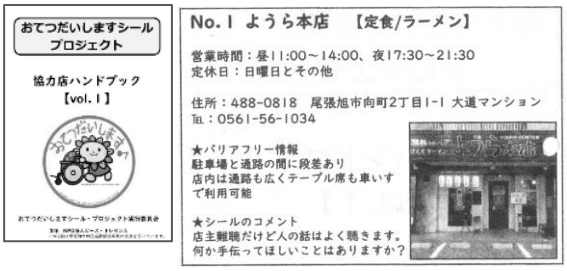
【団体概要】障がい福祉や地域福祉の問題について、当事者目線で支援や啓発活動を行う。

【事業報告】お店側の気持ちを「おてつだいしますシール」というカタチに見える化し、店舗の利用に困難を感じている人が「手伝ってください」と声を掛けやすくする、地域のお店を巻き込んだ活動。

　シールの説明・打ち合わせを行い、シールは12店舗に配布済み。32店舗には打診済みで順次配布していく。

　ごちゃまぜ運動会（障がい体験×レクリエーション。11/30に開催）のコラボ企画として、パン食い競争のパンを、昨年はスーパーで買ったパンだったが、今年はシールプロジェクト協力店に作ってもらった。また、運動会参加証を提示すると協力店でサービスが受けられる企画を行い、協力店MAPを作成し、会場で掲示した。

　紙媒体として「協力店ハンドブック」（A5サイズ8ページ500部）を作成し、公共施設や協力店に配置し、また、イベント等で配布した。



【講評】

●おもしろい企画になってきている。運動会に特典が付いているのがいいと思った。協力店にお返しができるのはこういう企画だからこそ。デジサポさんに協力してもらってGoogle mapができるのでは。手間隙かけて浸透させることと、より早く多くの方に情報を届けること、両面を今後も考えていくとよいと思う。

●コラボ企画がおもしろい。相乗効果を生んでいる。

　ハンドブックがよくできている。デジタル社会といいながらも、紙媒体は手に取りやすい。各店のバリアフリーサービスが説明されてある。

　一軒一軒訪ねて説明して納得してもらいシールを張ってもらうことは、時間のかかる作業だが、コツコツとやっていただきたい。

ルカ子ども発達支援ルーム
「発達に気がかりのある親子の集い」

【団体概要】発達に気がかりのある子どもたちとその保護者が集える場所づくり。発達障がいに関する情報発信や相談を行い、親が一人で抱え込まず、地域全体で発達に気がかりのある子どもを育てていく基盤とする活動を行っている。

【事業報告】発達に気がかりのある子の保護者のためのサロン「カルディア」の7月6日のテーマは「子どものしつけ・生活」。話しやすい雰囲気づくりを大切にしている。フリートークでは、「ゲーム時間の設定や、お片づけをどうしたらいいか」「お手伝いのさせ方」「良い行動に対してのご褒美」など、日々の困りごとや気になっていることを出し合った。ワークショップでは、「子どもの個別支援計画をつくってみよう」をテーマに、子どもの良いところ、困っているところを「行動」に直して書くワークをして、具体的な行動で、褒めたり支援する方法を学んだ。「学びのおみやげ」として何か一つでも「学び」を持ち帰れるように企画している。

　未就園児の親子のための親子ひろば「スキップ」は、地域の親子の遊び場。月１回行っており、地域に定着してきている。ＮＰＯ法人チームレスキューによる乳幼児のいる家庭のための防災教室、劇団びっくり箱の公演、やさいスタンプ、子育て相談会など気軽に誰でも参加できる場づくりをした。

【講評】

●プログラムが良い。継続的な参加者が多いというのは、良いプログラムをされていることの表れだと思う。普段どこで相談しようかとお悩みの方も多い。新規の方をどこから見つけるかが今後の課題となるが、お子さんが多く集まるイベントへの出展など、スタッフを見つける機会にもなる。展開の段階にきている。

●利用者に寄り添った活動をされている。「学びのおみやげ」が印象的で、非常によかった。

　他団体との差別化、類似活動との住み分けの課題があるが、市民の方が両方に参加できるような調整が図れるといいと思う。

劇団びっくり箱
「みんなであさぴー絵かき歌♪と地域の野菜を知ろう事業
～母ちゃん劇団の出張おしばいかい～」

【団体概要】子どものためのおしばい会や、親子で楽しめるイベントの企画
【事業報告】今年は地域野菜のプチヴェールとあさぴー絵かき歌をテーマに、市内児童館や保育園で公演を行った。野菜当てクイズも取り入れて地域愛と地産地消のメッセージを込めた。
　プチヴェールのお話「まいごのプチヴェールちゃん」は、尾張旭のＪＡグリーンセンターの野菜売り場が舞台で、様々な野菜が登場する。渋川児童館、ピンポンパン教室、中部児童館、てんとうむし保育園、藤池児童館で上演した。市民祭は残念ながら中止で上演できなかった。

【講評】
●ＪＡか商工会から予算もらえそうな感じがした。
　熱田神宮界隈でまちづくりをしている団体も紙芝居を作っているが、日本武尊を作り、信長を作り、宮簀媛（みやずひめ）を作り、シリーズを増やしている。尾張旭の魅力を発信していくＰＲ大使のような感じでやるのも面白いと思った。
●はじめの一歩から拝見しているが着実にパワーアップしている。紙芝居や劇の内容が地域に根差し、市民活動として理想的な形で仕上がっている。この話を見た後は、多分ＪＡにプチヴェールを買いに行く人がたくさんいると思うので、ＪＡに話をすれば何か協力してもらえるかもしれない。３年目ということで、一応一区切りとなるが、十分自立されていると思うので、今後もぜひ活動を続けていき、尾張旭市のヒーロー的存在になっていってほしいと思う。

【イメージアップ！写真講座】

名城大学4年生で、「ナゴレコ」ライターをしている安形さんから、イメージの変わるスマホ写真の撮り方や写真加工を学びました。

① 縦横のバランスを揃える
② 明るい写真、見せたいものをきれいに
③ 伝えたいことだけを！見る人になるべく頭を使わせない

3つのポイントを念頭に、スマホ写真の加工を実践しました！

◆市民活動支援センターのイベント案内◆

★市民活動紹介パネル展示★

12月9日（月）から20日（金）まで、市役所1階のロビーで、市民活動支援センター登録団体の活動写真や団体情報を展示しました。
この後、イトーヨーカドーでも展示しますので、ぜひお立ち寄りください。
●ところ　イトーヨーカドー尾張旭店　1階　東側
●期　間　12月26日（木）～1月10日（金）

本の紹介

初めてでもできる「会計」
[自治会・町内会]すぐに役立つ実践会計マニュアル
　監　修　名和田是彦、岩﨑淳
　著　者　宮田昌一
　発行所　株式会社朝日出版社

町内会などの会計を初めてされる方におすすめです。
尾張旭市立図書館で借りられます。

分かりやすい！

◆令和２年１月～３月登録団体開催イベント案内◆

月	日		時間	場所	内容	主催	備考
1月	9	木	10:00～ 11:30 （ランチルームは13:00まで）	愛知聖ルカセンター（東大道町原田68）	**親子ひろば「すきっぷ」** ボールで遊ぼう	ルカ子ども発達支援ルーム 0561-53-8937小野 alc.chubu@nskk.org	要申込 費用100円 市民活動促進助成事業 あさひ健康マイスター チャレンジ対象事業
	11	土	10:00～ 17:00	名古屋国際会議場 （名古屋市熱田区熱田西町1-1）	**あいち・なごや生物多様性EXPO** （出展内容） ・ステージ：「海の汚染マイクロプラスチックの実態」 ・ブース：COP10 からの経過活動展示とワークショップ	（出展参加） 地域環境活性化協議会 090-4258-8677髙橋	申込不要
	12	日					
	14	火	14:00～	グリーンシティビル1Fコミュニティスペース	**第九回あさひ駅前寄席** ・雷門獅篭（落語） ・旭堂鱗林（講談）	おわり和文化倶楽部 090-1751-3516柳生	座席予約可 木戸銭 1,000円
	16	木	13:00～ 14:00	モリコロパーク地球市民交流センター	**ゆかいな仲間の楽しいマジックショー** **マジック・バルーンアート教室**	スーパーグレートマジシャンズ 090-3555-0874 フローラルけいこ	申込不要 教室は材料費200円
	18	土	10:00～ 12:00	愛知聖ルカセンター（東大道町原田68）	**発達に気がかりのある子の保護者のためのサロン「カルディア」（特別編）** 愛知県医療療育総合センター医師　小野真樹さんによるミニ講座「子どもの困った行動への理解と支援」 ワークショップあり	ルカ子ども発達支援ルーム 0561-53-8937小野 alc.chubu@nskk.org	要申込 参加費500円 託児有り （要事前申込） 市民活動促進助成事業 あさひ健康マイスター チャレンジ対象事業
2月	4	火	13:00～ 14:00	モリコロパーク地球市民交流センター	**ゆかいな仲間の楽しいマジックショー** **マジック・バルーンアート教室**	スーパーグレートマジシャンズ 090-3555-0874 フローラルけいこ	申込不要 教室は材料費200円
	6	木	10:00～ 11:30 （ランチルームは13:00まで）	愛知聖ルカセンター（東大道町原田68）	**親子ひろば「すきっぷ」** 手型記念プレートをつくろう	ルカ子ども発達支援ルーム 0561-53-8937小野 alc.chubu@nskk.org	要申込 費用100円 市民活動促進助成事業 あさひ健康マイスター チャレンジ対象事業
	15	土	13:00～ 16:00	尾張旭市文化会館	**生涯学習フェスティバルオープニングイベント** （出展内容） ・「生物多様性の 10 年」COP10 以降の実績をパネル展示とワークショップで考え学びます。 「幸せの木の鳥」にペインティングします。	（出展参加） 地域環境活性化協議会 090-4258-8677髙橋	申込不要

◆令和２年１月～３月登録団体開催イベント案内◆

月	日		時間	場所	内容	主催	備考
２月	24	休	15：00／18：00（2回公演）	文化会館あさひのホール	**市民有志ミュージカル『となりのドラゴン』** 尾張旭にドラゴンが現れる！？ 尾張旭を舞台にしたオリジナルミュージカル	尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会 050-5362-3562鈴木 owariasahi.musical@gmail.com	要申込 費用800円
３月	4	水	13:00～14:00	モリコロパーク地球市民交流センター	**ゆかいな仲間の楽しいマジックショー** **マジック・バルーンアート教室**	スーパーグレートマジシャンズ 090-3555-0874 フローラルけいこ	申込不要 教室は材料費200円
	7	土	10:00～12:00	愛知聖ルカセンター（東大道町原田68）	**発達に気がかりのある子の保護者のためのサロン「カルディア」（特別編）** 愛知みずほ大学人間科学部心身健康科学科　准教授　中林恭子さん（臨床心理士・公認心理師）によるミニ講座「見つけよう！自分らしい子育て～育てにくい子どもの対応に悩む方へ～」 ワークショップあり	ルカ子ども発達支援ルーム 0561-53-8937小野 alc.chubu@nskk.org	要申込 参加費500円 託児有り （要事前申込） 市民活動促進助成事業　あさひ健康マイスター チャレンジ対象事業
	10	火	14:00～	グリーンシティビル1Fコミュニティスペース	**第十回あさひ駅前寄席** ・雷門獅篭（落語） ・旭堂鱗林（講談）	おわり和文化倶楽部 090-1751-3516柳生	座席予約可 木戸銭 1,000円

コミュニティー・ホッ，ト・たいむ

【申込・問い合わせ先】電話 090-8475-7043（岡山）

【こども習字】参加費１ヶ月 700 円　年会費 700 円

渋川福祉センター1Ｆ会議室又は小会議室

1 月	5 日，19 日，26 日	9：30～10：30 10：30～11：30 13：30～14：30 14：30～15：30
2 月	2 日，9 日，16 日	
3 月	1 日，8 日，15 日	

【書道+七宝焼制作】参加費700円

渋川福祉センター1Ｆ会議室

2 月	23 日（日）	10:00～15:00
3 月	22 日（日）	10:00～15:00

【着付け】参加費800円

渋川福祉センター2Ｆ和室

1 月	22 日（水）	13:00～15:00
2 月	26 日（水）	13:00～15:00
3 月	25 日（水）	13:00～15:00

◆ボランティアに関するご案内◆

託児ボランティアを募集します！

子育て支援センターが開催する講座等に参加される保護者のお子さんの託児にご協力ください。

【登録方法】
まずは、子育て支援センターにご連絡ください。
研修会あり（令和2年2月13日(木)に開催）。
受講後、託児ボランティアとして登録していただきます。

【活動回数】1回約2時間。年間4～5回程度。
【謝礼】あり
【対象者】市内在住在勤在学で、20歳以上の方

尾張旭市子育て支援センター

尾張旭市新居町明才切 57 番地
保健福祉センター内 4 階
TEL/FAX：0561-52-2299
メール：
kosodate@city.owariasahi.lg.jp

災害ボランティアコーディネーター養成講座　参加者募集！

（協力　災害ボランティアコーディネーター尾張旭）

災害時、ボランティアの受け入れ窓口を設置し、参集する多数のボランティアと被災者の支援要請の調整を図る「災害ボランティアコーディネーター」の養成講座を開催します。

【日時】1月25日（土）午前10時～午後4時
【場所】渋川福祉センターくすのきホール
【内容】
午前：講義「災害ボランティアセンターの機能と役割」
昼食：非常食体験
午後：演習「ボランティアセンター受付模擬演習」
【講師】認定ＮＰＯ法人レスキューストックヤード
浦野愛さん
【申込方法】市社会福祉協議会へ電話または直接

社会福祉法人　尾張旭市社会福祉協議会

尾張旭市新居町明才切 57 番地
保健福祉センター内
TEL：0561-54-4540　FAX：0561-51-1880

◆市民活動支援センターのイベント参加者募集！◆

★「市民活動・ボランティア団体のための活動資金講座」と市民活動促進助成金説明会★

あさひ健康マイスター チャレンジ対象事業

市民活動に必要な資金調達の基礎知識及び助成金申請書作成方法について実践的に学びます。1月25日は講座終了後に、市民活動支援センターより市民活動促進助成金の説明を行います。助成金を考えている団体さんは必見です。講師は日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザーの西村健さん。

と　き	令和 2 年 1 月 25 日(土)・2 月 8 日(土) 午後1時30分から4時までの全2回講座 （1月25日は4時から4時15分まで市民活動促進助成金説明会あり）
ところ	渋川福祉センター　研修室
対　象	市民活動やまちづくりに興味のある方
受講料	無料
申し込み	1月6日(月)から市民活動支援センターに電話、FAX、メールか直接。 （土・日曜日、祝日を除く午前9時から午後5時）

★市民活動・ＮＰＯ相談の予約受付★

市民活動・NPOに関する悩み、活動に今後携わりたい方、団体やNPO法人を立ち上げたが、実際の経営や事業で課題を持っているなどの市内の市民活動団体・個人の方を対象に、相談会を開催します。

と　き	1 月 20 日(月)　午後 1 時～4 時
ところ	渋川福祉センター　集会室
申し込み	要事前予約。市民活動支援センターに電話、FAX、メールか直接。

市民活動団体連絡協議会より

瀬戸・長久手・尾張旭の３市交流会「Afternoon　tea　party！」が開催されました

11月30日(土)午後、渋川福祉センターで、尾張旭市市民活動団体連絡協議会主催の3市交流会「Afternoon tea party！」が催されました。3市から38団体、64名の参加がありました。

オープニングは「尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会」のミュージカルソング。

その後、交流会スタート。ファシリテーター杉原さんの進行のもと、「カタルタカード」を使った自己紹介と、「コラボで何が生まれるか」をテーマに、約1時間半、意見交換がを繰り広げられました。

お楽しみは、紅茶専門店「ティーズリンアン」の堀田さんを講師に迎えてのミニ紅茶講座。Afternoonteaの心得とおいしい紅茶の入れ方を習いました。さっそくお茶を入れ、サンドウィッチなどを食べながら会話を楽しみました。

エンディングは「ヘヴンリー・ゴスペル・クワイア」のゴスペル。ソウルフルな歌声で幕は閉じました。

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。

▲尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会

◂ミニ紅茶講座▼

▲ヘヴンリー・ゴスペル・クワイア

▲グループに分かれて交流会

市民活動団体連絡協議会プロジェクト！

３市交流会実行委員会だよりVol.3

第４回打ち合わせ会を11月15日（金）に行いました。役割分担やスケジュール、準備用品の最終調整をしました。

交流会前日の 11 月 29 日（金）には、全ての準備物品を用意するため、皿洗いや仕分けなどの作業を行いました。

交流会当日は実行委員会のご家族や出演者も総出で会場設置をしました。小中学生のお子さん達も皿洗いなど裏方の仕事をたくさんしてくださいました。会場片づけは参加者全員で協力して行い、ものの１０分で片付きました。皆様、ありがとうございました。

〈打ち合わせ参加メンバー〉
・劇団びっくり箱（橋本）
・ルカ子ども発達支援ルーム（小野）
・こども自然学校（杉原）
・瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会（浅井）

市民活動団体連絡協議会に関するお問い合わせは、事務局の市民活動支援センター（担当：喜多野）まで

◆◆助成金情報のお知らせ◆◆

現在募集中の助成金の一部を紹介します。

助成名	申請期間	概要
【CO・OP共済】 2020年度　地域ささえあい助成 問い合わせ先： 日本コープ共済生活協同組合連合会　渉外・広報部 地域ささえあい助成事務局 tel 03-6836-1320 fax　03-6836-1321 メール contribution@coopkyosai.coop	1/7（火） ～1/31（金）	【応募条件】 下記のテーマに該当すること。 生活協同組合とNPO・ボランティア団体等が協同した取り組みであること 【対象テーマ】 ①　くらしを守り、くらしの困りごとの解決に資する ②　命を守り、その人らしい生き方ができるようにする ③　女性と子どもが生き生きする 【助成額】 1つの活動について原則100万円を上限。 （助成総額は最大2,500万円を予定している。）

市民活動支援センター登録団体の
子どもの発達支援関係ＮＰＯ団体の一覧表

7月29日（月）に渋川福祉センターの市民サロンにおいて、市民活動支援センターに登録している子どもの発達支援関係団体が集まり、情報交換会を行いました。

情報交換会では、必要な人のところに情報が届くように市民活動支援センター登録の発達支援関係団体の活動内容などをまとめた一覧を作成することになりました。

一覧表には、活動概要、参加者年齢層、主な活動場所、団体メッセージ、連絡先、ホームページアドレスが記載してあります。

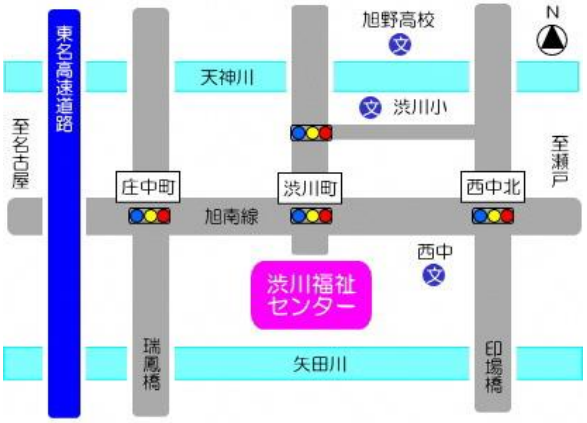
市民活動支援センター及び市内公共施設に配置してあります。また、市ホームページに掲載してあります。「子どもの発達支援関係ＮＰＯ一覧」で検索してください。

<一覧に掲載されている登録団体>

・尾張旭障がい児者家族ネットワークウィッシュ
・あさひトコトコの会
・障害児者家族の会　サンライズ
・ルカ子ども発達支援ルーム
・特定非営利活動法人COM‘ON FOR NIPPON（カモンフォーニッポン）
・一般社団法人　あいち子ども包括支援協会
・特定非営利活動法人　こころとまなびどっとこむ

子どもの発達支援関係団体の情報交換会に関するお問い合わせは、市民活動支援センター（担当：喜多野）まで

尾張旭市市民活動支援センター

すくすく のびのび 尾張旭市

〒488-0839 尾張旭市渋川町三丁目５番地７
渋川福祉センター１階
電　話　０５６１-５１-２８７８
ファックス　０５６１-５１-２８７９
E-mail　katudoushien@city.owariasahi.lg.jp